

# 2024年3月期 決算説明

2024年4月25日  
日野自動車株式会社

# 23年度 決算トピックス

	23年度実績	24年度見通し
販売台数	グローバル販売台数 <b>130.2千台</b> 前年比 ▲10.0% ・国内 36.3千台 <+0.2%> ・海外 93.9千台 <▲13.4%>	グローバル販売台数 <b>134.0千台</b> 前年比+2.9% ・国内 42.0千台 <+15.9%> ・海外 92.0千台 <▲2.1%>
営業利益	<b>▲81億円</b> 前年比▲255億円 ・材料市況の高騰継続や固定費の増加により営業赤字	<b>200億円</b> 前年比+281億円 ・トヨタ事業の改善、固定費抑制により採算改善
特別損益	国内認証関連 <b>▲72億円</b> ・顧客、仕入先等への補償	国内認証関連 — ・23年度に全額引き当て済み
	海外認証関連 <b>▲364億円</b> ・北米クラスアクション和解成立	海外認証関連 — ・当局による調査は継続中
	資産活用 <b>+1,116億円</b> ・日野工場西側土地売却(502億円) ・日高モータープール売却(403億円) ・保有株式の売却促進 (195億円)	資産活用 — ・保有資産全体の有効活用を引き続き検討中
当期利益	<b>171億円</b> 前年比+1,348億円	<b>未定</b>

**1)販売の状況**

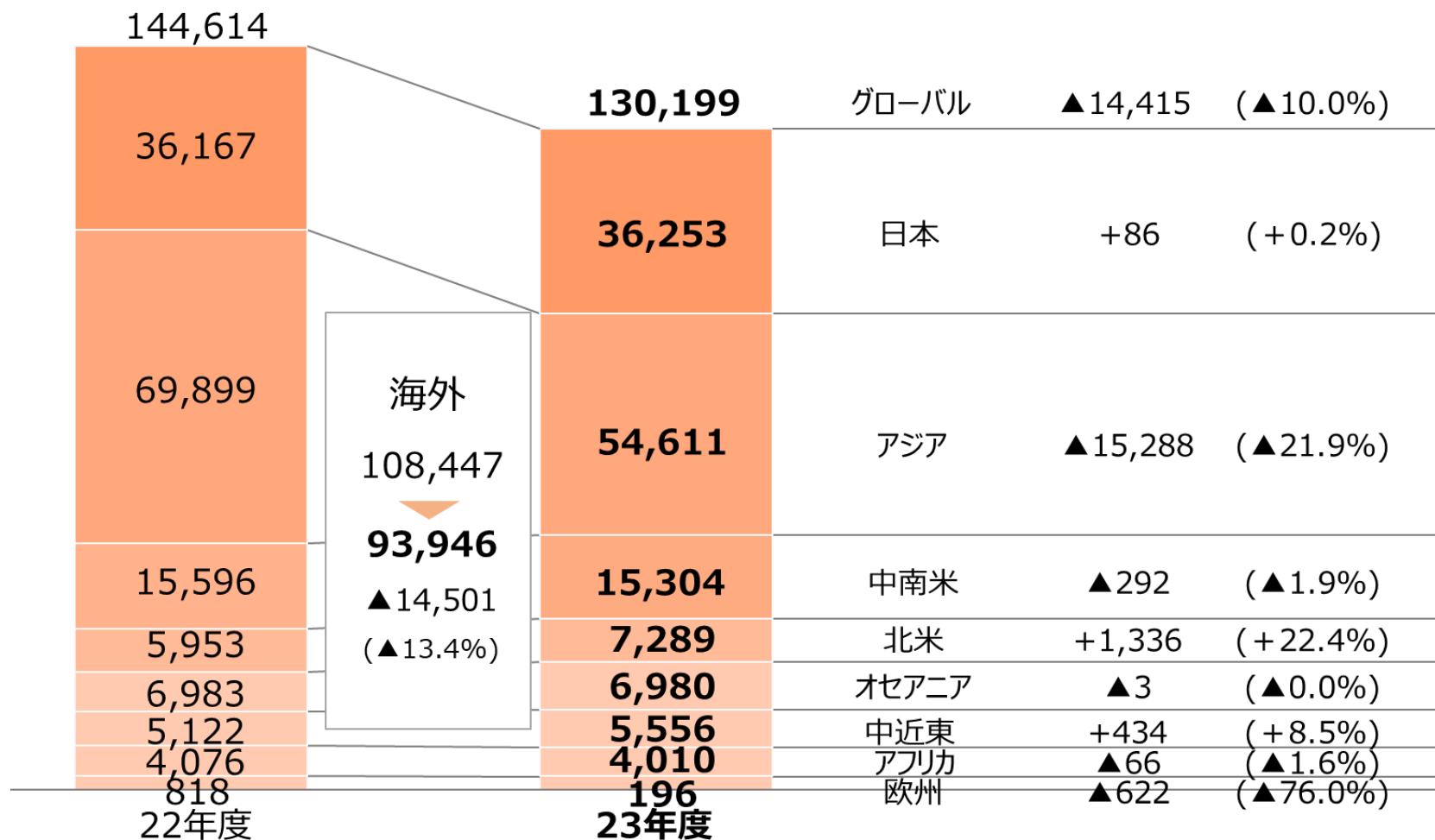
2)連結決算の状況

3)24年度 通期見通し

# グローバル販売台数（地域別総台数）

- ・グローバル販売台数は 130.2千台、前年比 ▲14.4千台（国内 +0.1千台、海外 ▲14.5千台）
- ・海外は各国経済の減速により、アジアを中心に前年比減

(単位：台)

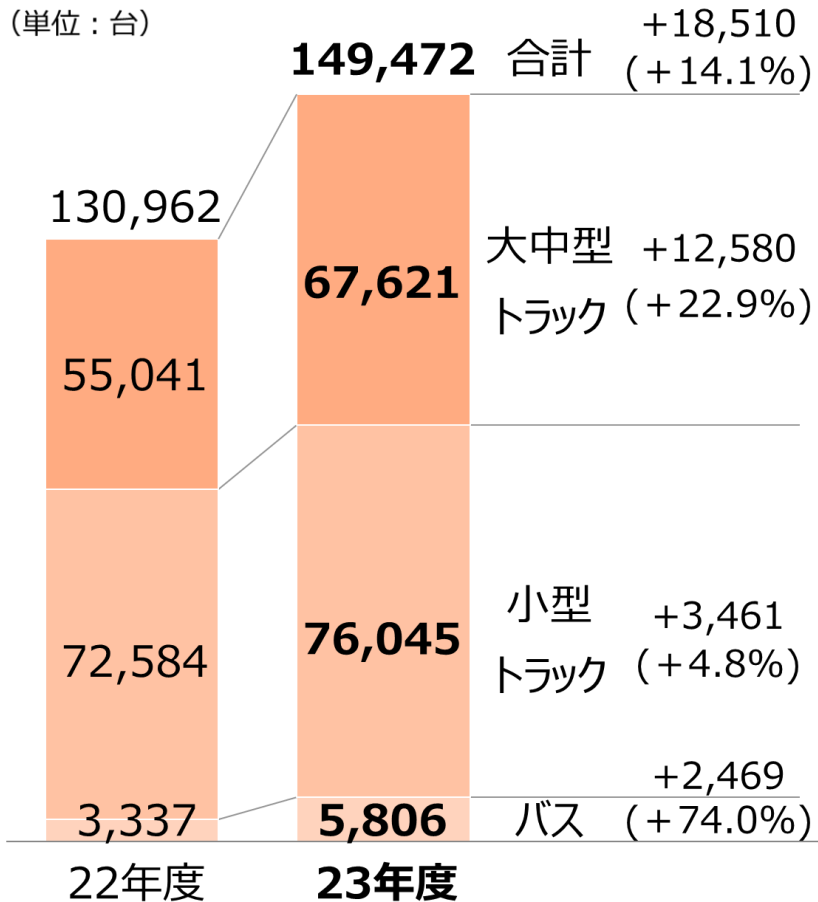


# 国内トラック・バス市場の状況

**総需要** : 半導体等、部品供給の改善に伴う各社生産の回復により、前年比 +14%増  
**日野販売** : 大中型トラックは、一部車種の出荷再開により前年比台数増も、架装生産制約等により全体では前年並み

## 総需要

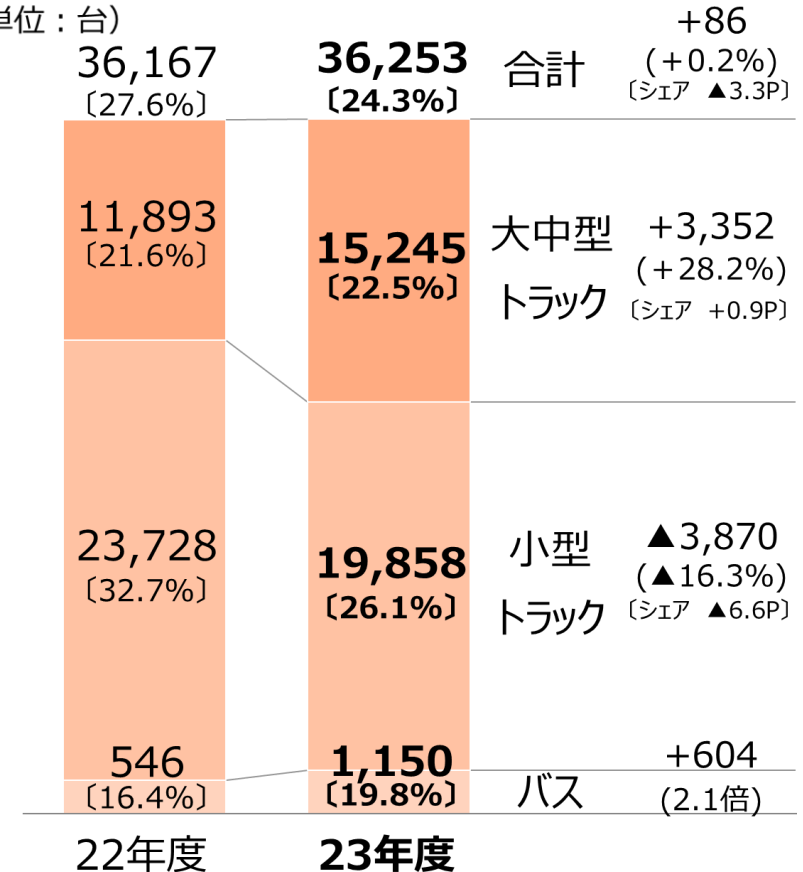
(単位：台)



## 日野販売〔シェア〕

〔 〕はシェア、( )は対前年増減率

(単位：台)



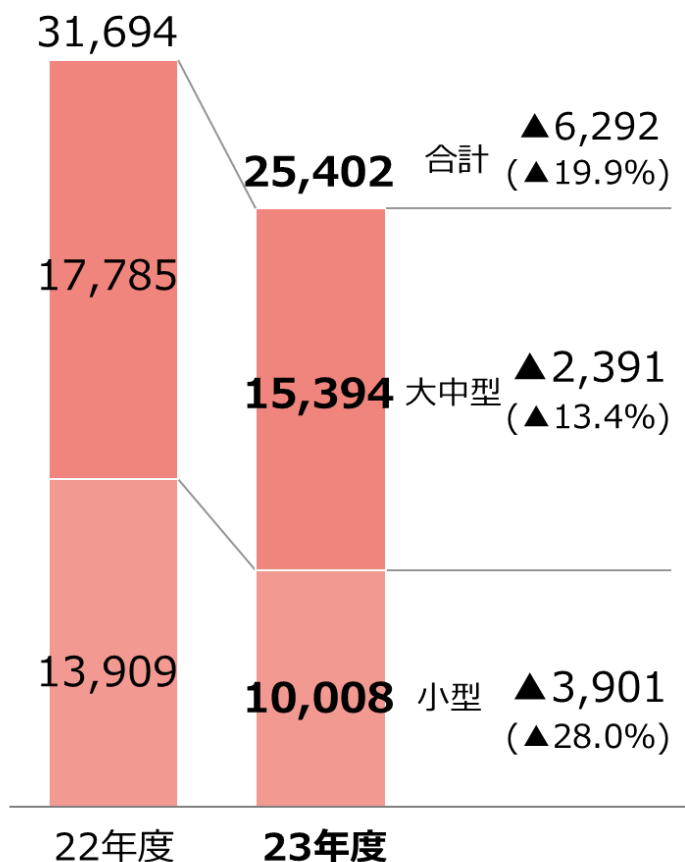
# インドネシア・タイ販売台数

インドネシア：大中型は資源価格低迷の影響、小型は需要減退により、前年比減

タイ：インフレや輸出減少等、経済減速により需要減

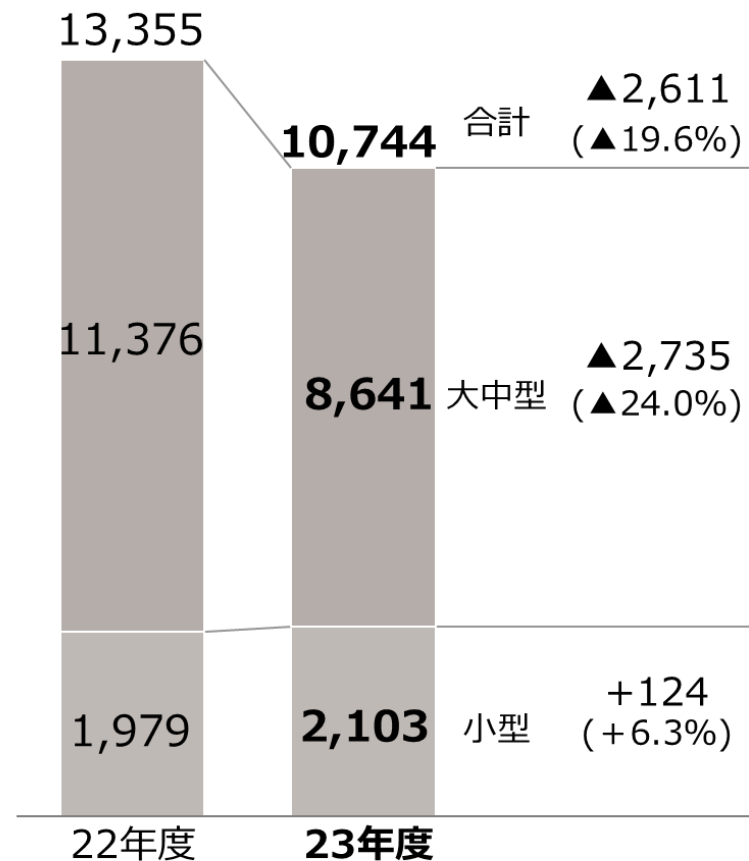
## インドネシア

(単位：台)



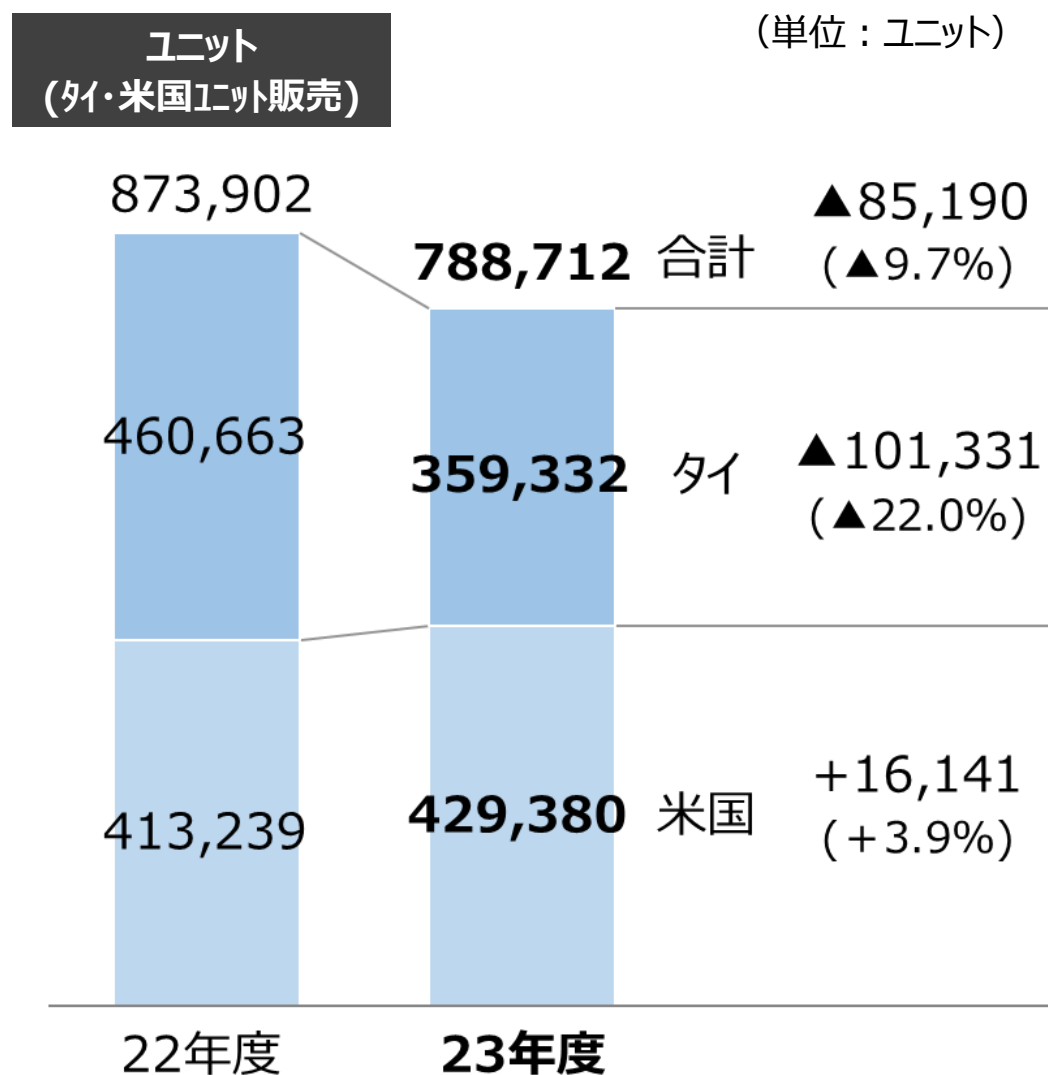
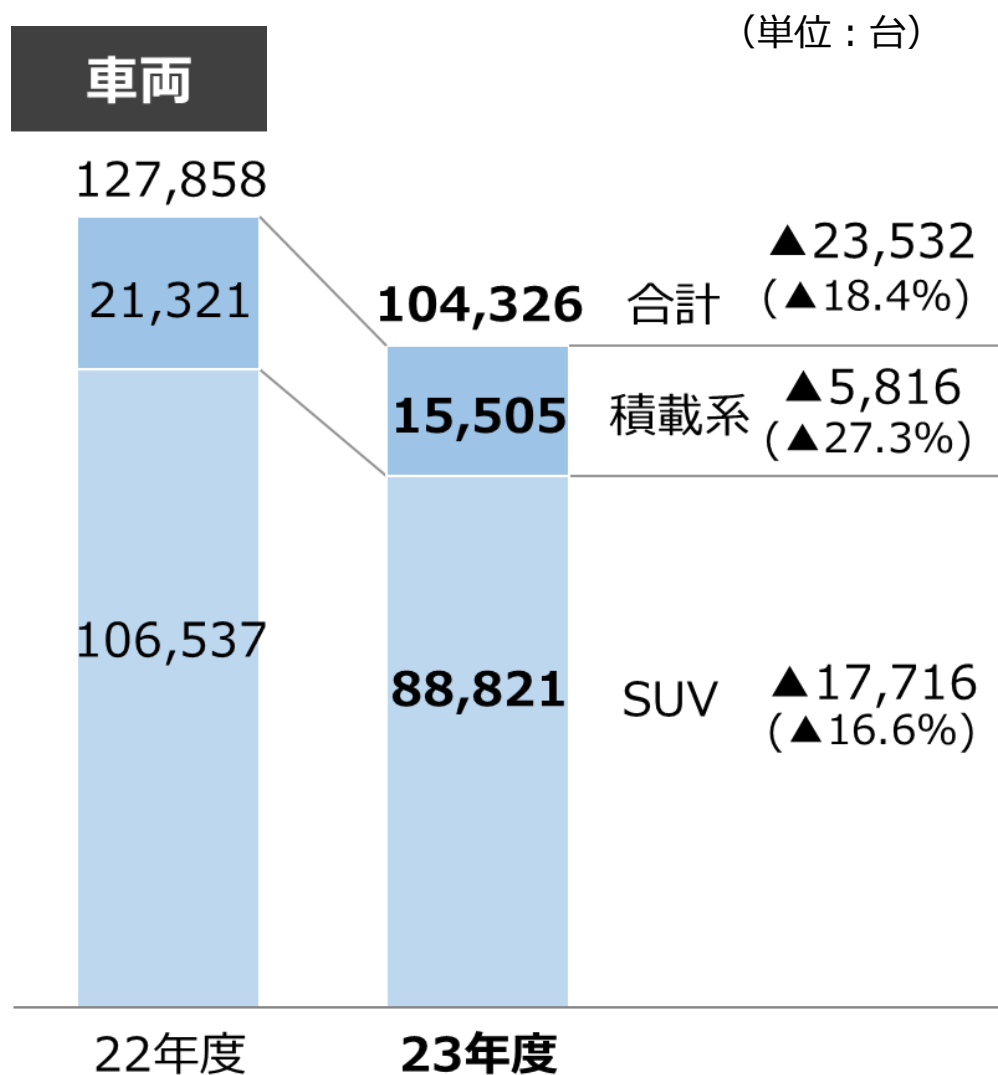
## タイ

(単位：台)



# トヨタ向け車両・ユニット売上

- ・車両 : ユニット部品供給影響等により、台数減
- ・ユニット : 北米は前年の半導体不足による生産調整の解消により増加も、タイの需要減により、全体では減少



1)販売の状況

**2)連結決算の状況**

3)24年度 通期見通し



# 連結損益の状況

(単位：億円)

科目	23年度	22年度	増減
売上高	15,163	15,073	+90
営業利益	(▲0.5%) ▲81	(1.2%) 174	(▲1.7p) ▲255
経常利益	(▲0.6%) ▲92	(1.0%) 158	(▲1.6p) ▲250
親会社株主に帰属する 当期純利益	(1.1%) 171	(▲7.8%) ▲1,177	(+8.9p) +1,348

( ) は、売上高利益率

## ■ 連結売上台数

(単位：台)

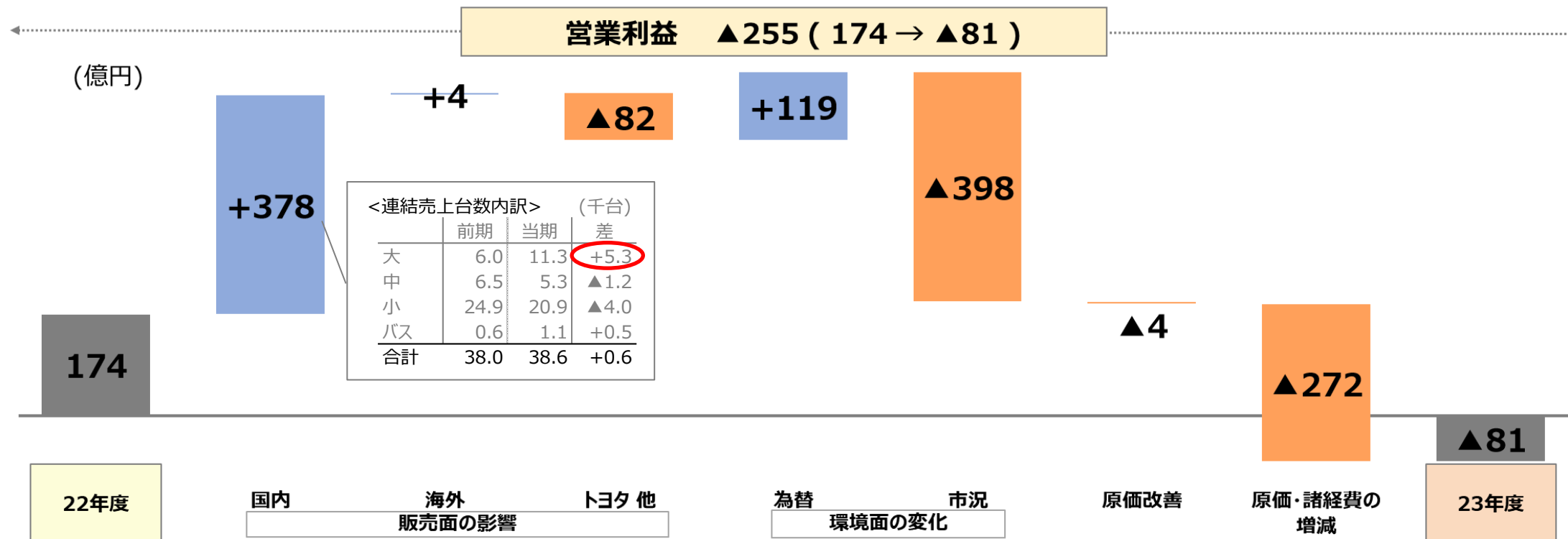
	23年度	22年度	増減
国内	38,572	37,988	+584
海外	92,056	113,867	▲21,811
トヨタ	104,326	127,858	▲23,532

## ■ 為替レート

	23年度	22年度
USD	142	135
THB	4.09	3.82
IDR (100)	0.94	0.90
AUD	94	93

# 連結営業利益の変動要因 [対 前期実績]

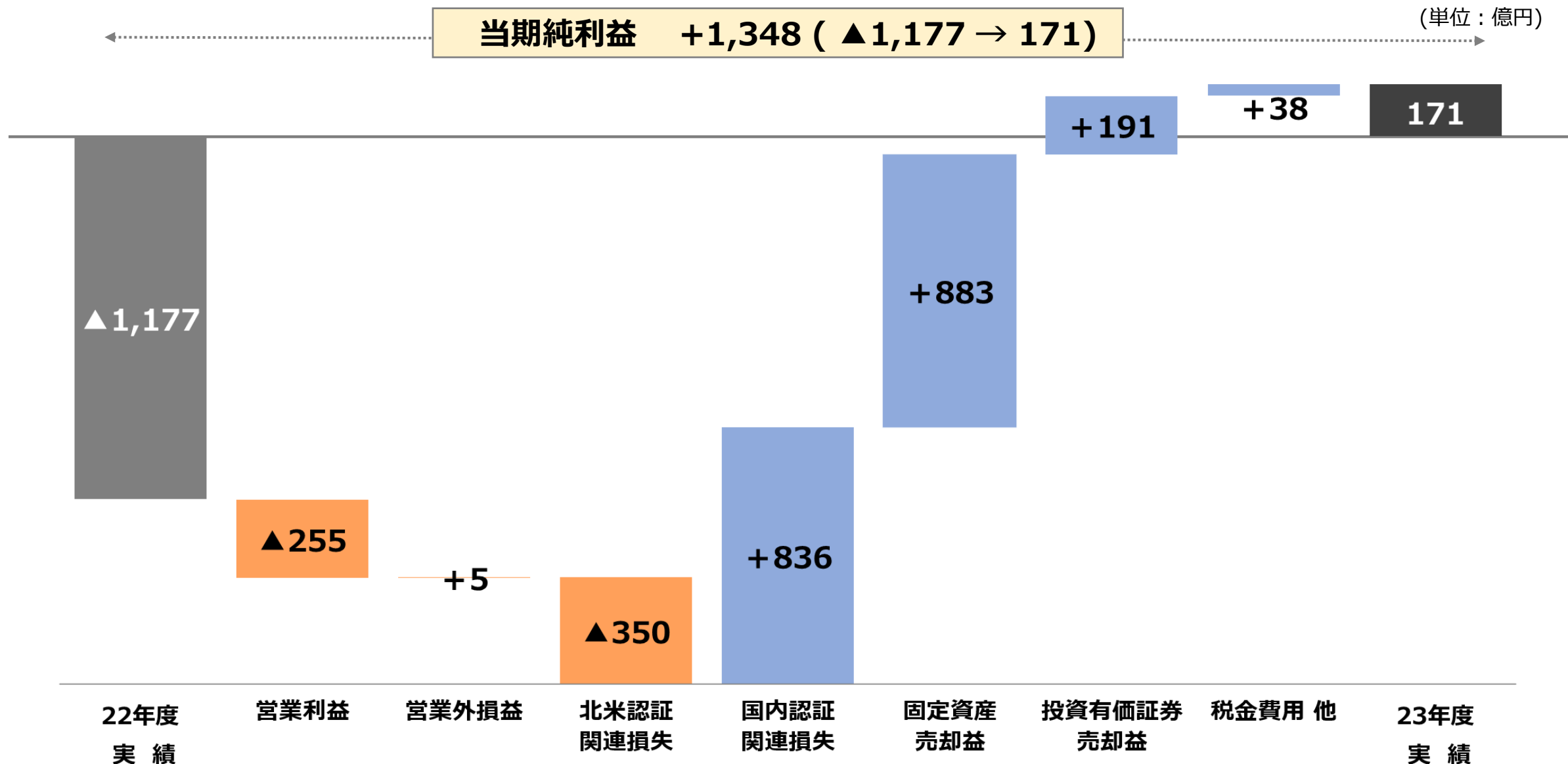
・ A09C出荷再開に伴う国内大トラ増/円安により増益も、市況悪化(前年波及) 及び 固定費増加が大きく営業赤字



	前期	当期	差
大	6.0	11.3	+5.3
中	6.5	5.3	▲1.2
小	24.9	20.9	▲4.0
バス	0.6	1.1	+0.5
合計	38.0	38.6	+0.6

国内	海外	トヨタ他	為替(4-3月累計)	市況	原価改善	原価・諸経費の増減
台数(内訳上記掲載)	+232	台数 ▲228	車両 ▲50	USD(135 → 142) +60	<新規> ▲68	<一時費用> ▲239
価格	+57	価格(新規/波及) +192	海外ECIT ▲71	IDR (0.90 → 0.94) +34	材料 ▲88	<継続費用> ▲10
TS	+89	TS +40	PT ▲7	THB (3.82 → 4.09) +67	物流 +7	品質(北米保証延長 他) ▲146
			仕入先 +46	AUD (93 → 94) +9	工社等 +13	訴訟関連費用 ▲34
				TWD (4.44 → 4.48) +6	材料他 ▲330	開発費 +6
				他 +6	<波及> ▲330	統一案件コスト ▲20
				固定費換算差 ▲63	材料他 ▲330	<原価変動> ▲23
					北米開発 ▲16	稼働ロス他 ▲23
					事業基盤強化 ▲12	
					その他 +7	
計	+378	+4	▲82	+119	▲398	▲272

# 連結当期純利益の変動要因 [対 前期実績]



# 連結所在地別セグメント 売上高・営業利益

日本：国内大型トラックの台数増も、材料市況の悪化/固定費増加により大幅減益

アジア：車両価格改善/トータルサポート収益拡大も、台数減により減収減益

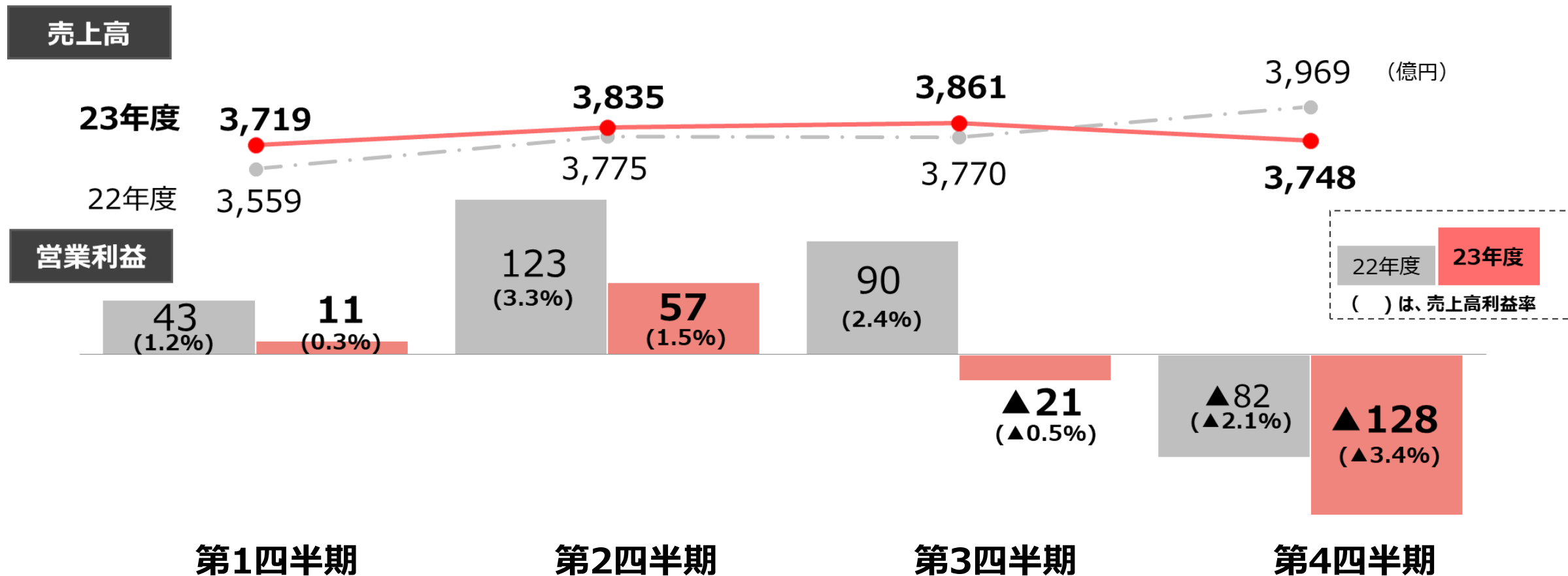
その他地域：主として北米の台数増により増収、収益は材料/労務費インフレ、品質費用(一時費用)の計上により、赤字幅拡大

(単位：億円)

	23年度		22年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	10,265	▲156 (▲1.5%)	10,229	25 (0.2%)	+36 +0.3%	▲181 -
アジア	4,614	319 (6.9%)	5,370	421 (7.8%)	▲756 ▲14.1%	▲102 ▲24.2%
その他地域	2,796	▲263 (▲9.4%)	2,602	▲176 (▲6.8%)	+194 +7.5%	▲87 -
調整	▲2,512	19	▲3,128	▲96	+616	+115
計	15,163	▲81 (▲0.5%)	15,073	174 (1.2%)	+90 +0.6%	▲255 -

( ) は、売上高営業利益率 増減欄の%は、対前年増減率

# 連結四半期別売上高・営業利益推移



第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

為替レート	22年	23年
USD	125	135

22年	23年
137	144

22年	23年
144	149

22年	23年
133	147

1)販売の状況

2)連結決算の状況

**3)24年度 通期見通し**

# 24年度 業績見通し 前提条件

<b>グローバル販売台数</b>	
<b>国内</b>	
<b>海外</b>	
<b>トヨタ向け台数</b>	
<b>為替 (年度平均)</b>	<b>USD</b>
	<b>IDR(100)</b>
	<b>THB</b>
	<b>AUD</b>

23年度実績	
	130.2千台
	36.3千台
	93.9千台
	104.3千台
	142円
	0.94円
	4.09円
	94円

24年度見通し	
	<b>134.0千台</b> (+3.8千台)
	<b>42.0千台</b> (+5.7千台)
	<b>92.0千台</b> (▲1.9千台)
	<b>155.1千台</b> (+50.8千台)
	<b>145円</b>
	<b>0.93円</b>
	<b>4.04円</b>
	<b>95円</b>

# 連結損益の状況

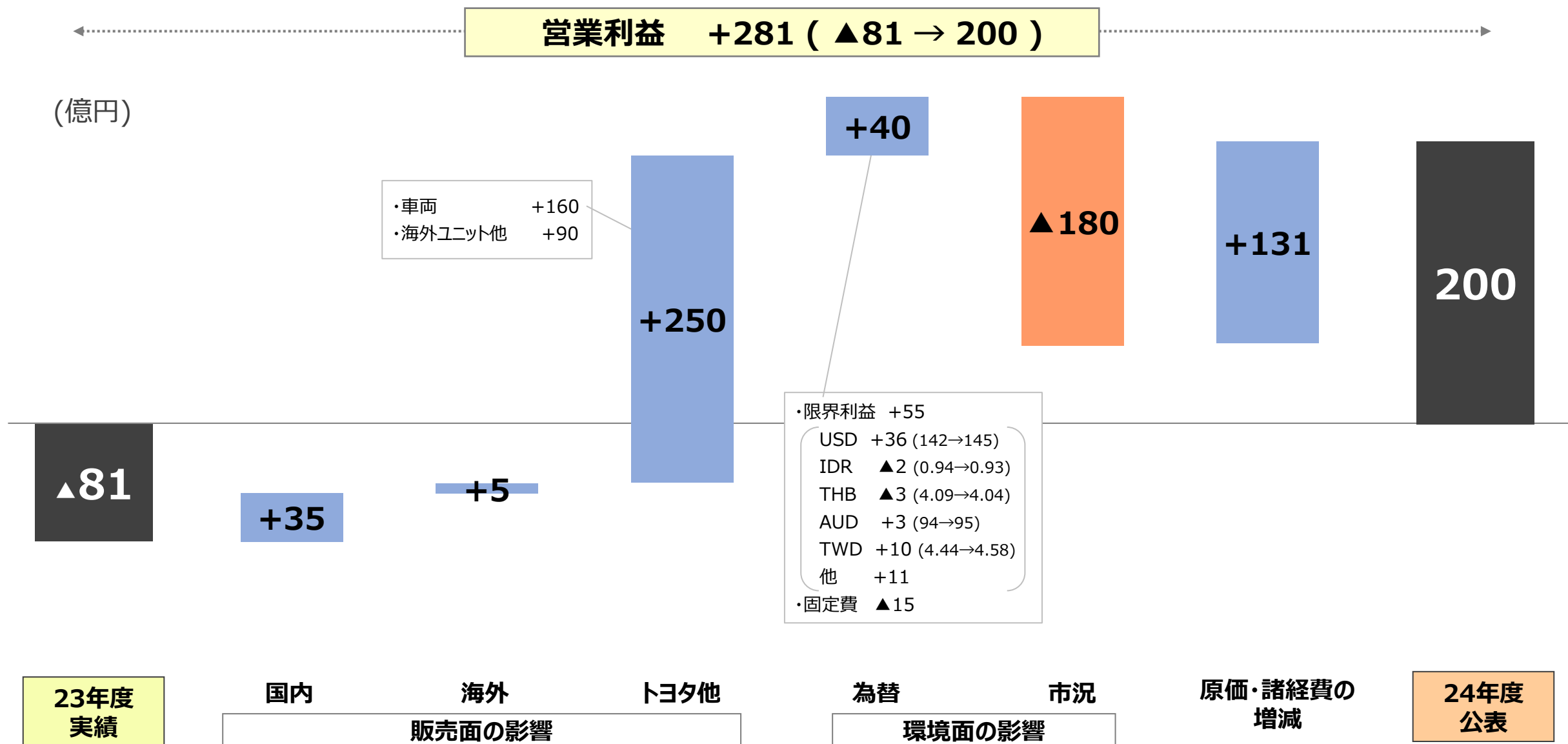
(単位：億円)

科目	24年度 期首公表	23年度 実績	増減	増減率
売上高	16,000	15,163	+ 837	+ 5.5%
営業利益	(1.3%) 200	(▲0.5%) ▲ 81	(+ 1.8p) + 281	—
経常利益	(0.6%) 100	(▲0.6%) ▲ 92	(+ 1.2p) + 192	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	未定	(1.1%) 171	—	—

( ) は、売上高利益率

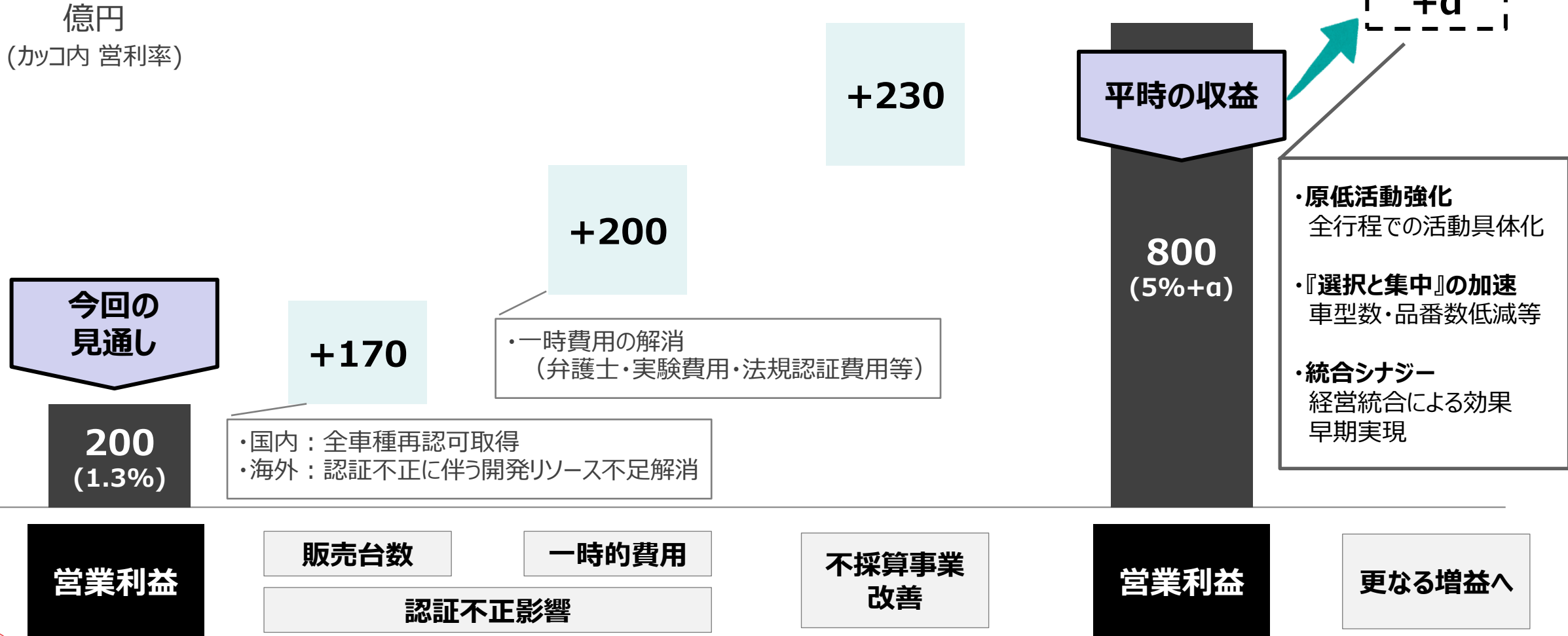


# 連結営業利益の変動要因



# (参考) 24年度 見通しについて

- ・24年度見通しは、認証不正影響の継続 および 不採算事業の影響で本来の収益には届かず
- ・平時の収益への回復を目指し、更なる増益に向けて、スピード感を持って課題に取り組む





人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する



コンプライアンスを徹底し、  
誠実に行動します



安全・環境にこだわり、  
未来の社会を支えます  
品質・プロフェッショナルにこだわり、  
お客様の事業を支えます



互いを尊重し、  
安全安心な職場をつくります